

救援・復興県民会議だより

発行 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

No. 8

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル4F

電話・FAX(兼)

019-601-5133

ホームページ

[http://www1.ocn.ne.jp/~](http://www1.ocn.ne.jp/~fukkoukg/index.html)

[fukkoukg/index.html](http://www1.ocn.ne.jp/~fukkoukg/index.html)

被災者本位の一日も早い復興を 東日本大震災津波1年岩手県民集会に250人



開会挨拶、渡辺代表世話人

3月4日、県水産会館において「東日本大震災津波1年岩手県民集会」が会場があふれる250人を超える参加で開催されました。

オープニングとして行われたうたごえ演奏(35人参加)のあと、県民会議渡辺喜代子代表世話人が開会挨拶を行いました。冒頭に、死者・行方不明者合わせて5980人の犠牲者を追悼して参加者全員が黙祷をささげました。



参加者全員で黙祷

震災後の現状と到達点、復興を妨げる消費税増税TPP参加反対を一加藤代表世話人が主催者挨拶

主催者を代表して加藤代表世話人が挨拶。加藤



主催者挨拶、加藤代表世話人

代表世話人は、大震災津波から1年を迎えようとしているが、国の第三次補正予算決定が遅れたなど復興対応に問題があったと指摘。その上で、仮設住宅の環境改善、福祉灯油補助実現、住宅建築・購入に県と自治体で100万円の補助、被災地の県立病院再建で高田病院に入院施設も設置されたなど運動の成果を紹介。そして、野田首相が打ち出した消費税増税やTPP参加は復興を妨げるものでしかないと強調しました。TPP問題では反対運動を行っている「県民会議」が、米韓FTAの実態をつかむために韓国へ視察団を派遣することも話しました。

この後、県民集会協賛団体である全国災対連笹渡代表世話人から連帯あいさつを頂きました。

- 記念講演 - 「未来につながる真の復興を目指して」



講師の室崎益輝教授

室崎益輝(むろさきよしてる)関西学

院大学総合政策学部教授が記念講演を行いました。

「復興とは何か」から始まった講演は、被災者に希望もてる道すじを指し示すものとなりました。ときおり「私の考えですが」と断りながらの熱弁に、すべての参加者が真剣に聞き入っていました。「住宅確保も大切」だが、被災地の現状では「産業・生業(なりわい)」の復興が重要では。プレハ



熱心に講演を聴く参加者

ブから戸建ての木造公営住宅への移設を、高台への移転問題は住と職が離れる状態になるがたいへんではないか、地域のつながりや住民のコミュニティーが



会場外フロアの参加者

重要と強調。「物語復興」の提起では、ただちにやるべきことはやって、復興への住民の思いを語り合う十分な時間と全員が集まれる空間の確保が重要と述べました。

震災対応に追われる自治体では職員不足が深刻。全国の大学院生を休学させて派遣させてはどうかなどを提案。70分を超える講演となりました。(しんぶん赤旗と毎日新聞が報道)

**会場カンパ76863円、ありがとうございます
(記念講演後の内容等は、次の9号で紹介)**